

働きたい人みんなが働けるまちを目指して！

はたらくきずな

富士市ユニバーサル就労支援センターが発行する情報誌

vol.22
2023.6.15

第3回 富士市ユニバーサル就労 協力企業会

富士市が推進する「DX（デジタルトランスフォーメーション）・テレワークを活用した新しい働き方」と、ユニバーサル就労における雇用創出について、協力企業をお招きし、講話とグループワークを行いました。



CONTENTS

- 第3回富士市ユニバーサル就労協力企業会
- 令和4年度ユニバーサル就労支援センター支援状況
- 協力企業パネル展開催
- 就労支援員の声

新たに認定登録された協力企業の紹介

2023年5月12日現在

認定番号	企業名	業務内容
219	株式会社エクセルツアーズ	旅行業
220	富士工芸	家具建具製造・取付、内装工事、リフォーム工事
221	金子歯車工業株式会社	精密機械部品製造
222	富士紙管株式会社	紙加工業（紙管製造）
223	飯田工業薬品株式会社	化学薬品卸売業、フィルム関連リサイクル 他
224	中央静岡ヤクルト販売株式会社	食品の委託販売 他
225	NPO法人 生き活き岳南クラブ	介護事業（デイサービス／訪問介護）
226	合同会社 P.P.Corporation	放課後等デイサービスを中心とする相談・支援事業

協力企業名は富士市のWEBサイト
city.fuji.shizuoka.jpに掲載されています

「トップページ > くらしと市政 > くらし・手続 > 就職・労働 > ユニバーサル就労 > ユニバーサル就労推進事業認定協力企業」の、「認定協力企業一覧」のPDFデータでご覧いただけます



ユニバーサル就労は、企業の皆様の協力なくしては実現しません。日頃のご理解・ご協力に感謝しております。

ユニバーサル就労を推進するために欠かせないのが、雇用や就労体験の場を提供して下さる企業様の協力です。ユニバーサル就労に興味のある企業の皆様、ご連絡お待ちしております。

サポーター募集!!

富士市ユニバーサル就労支援センターではサポーターを募集しています。身近に困っている方がいたら是非「富士市にはユニバーサル就労支援センターがあるよ」とお声掛けをしてあげてください。

■登録料無料
■年会費無料

あなたが知ること
まわりの誰かが
知ることになります



富士市ユニバーサル就労支援センター 広報係

富士市ユニバーサル就労



〒416-8558 静岡県富士市本市場432-1 フィランセ東館1階
TEL 0545-62-7520

メール▶fuji-uw@tokaido-sigma.jp WEBサイト▶<https://f-uw.com>



■ 令和4年度ユニバーサル就労支援センター支援状況

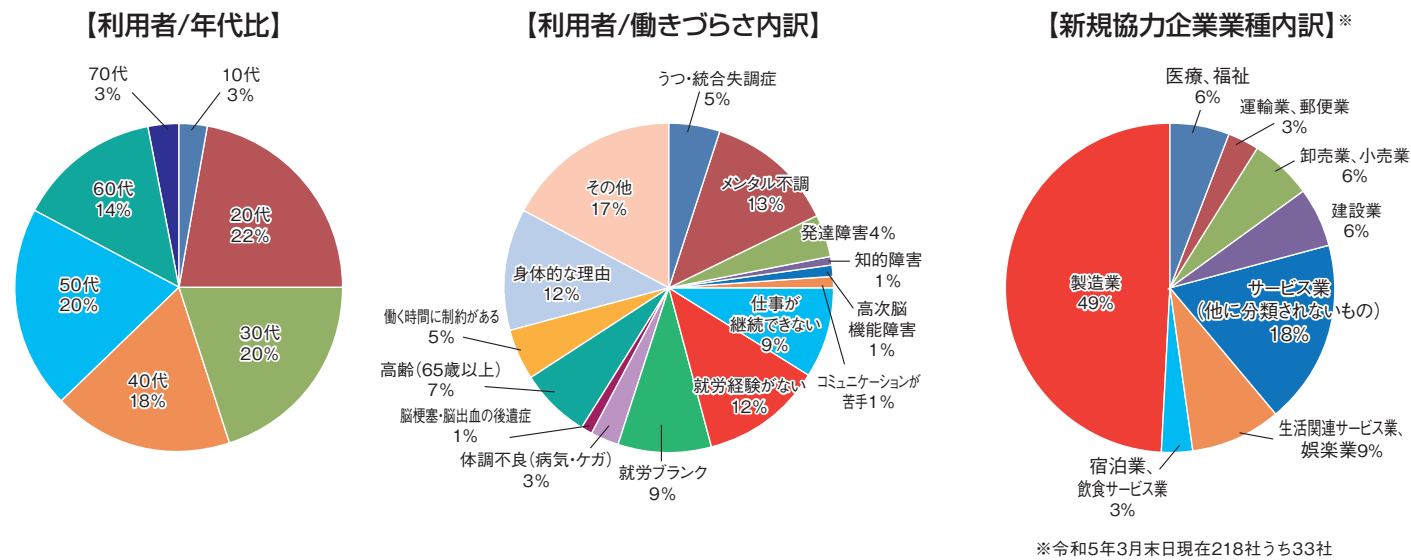
令和4年度は156名の利用者が就労を実現しました

富士市ユニバーサル就労支援センターの就労支援グループでは、令和4年度、349名の利用者に就労に向けた支援を行い、156名の方が就労を実現しました。

利用者の相談状況ですが、年代別では20代が全体の22%を占めています。続いて30代と50代がともに20%、40代が18%と稼働年齢層のご相談が多い結果となりました。

利用者の働きづらさの要因は多岐にわたっており、「メンタル不調」が13%、「身体的な理由」と「就労経験がない」が12%、「就労ブランク」と「仕事が継続できない」が9%、「高齢(65歳以上)」が7%となっています。利用者の働きづらさに寄り添い、きめ細やかな支援が必要不可欠になっています。

協力企業として新たに33社の企業にご登録をいただき、令和5年3月末日現在で218社となりました。



■ 就労支援員の声

仕事のこと、ひとりで悩まずにご相談ください

富士市ユニバーサル就労支援センターの相談窓口には、毎日多くの方が支援を求めてやってきます。今回は、実例や支援員はどのような想いで相談に乗っているか紹介します。



「仕事の手順やルールをなかなか覚えられずによく叱られる」「人から強い口調で言われると固まってしまう」など、これらのことが何度か続くことによって自分に自信をなくす例が大変多いと感じています。自信をなくすと就労意欲もなくなってきましたし、仕事に就くこと自体や人と接することまでも怖くなってしまいます。

その他にもさまざまな悩みをお持ちの方々がおり、私たちはそんな皆さんの力になりたいと日々支援活動をしています。ひとりで悩まず、何でも話してほしいと思っています。

■ 協力企業パネル展開催

富士市立中央図書館にて協力企業パネル展を開催しました

ユニバーサル就労の推進にご協力をいただいている企業の皆さまを紹介する「協力企業パネル展」を、3月1日(水)から16日(木)まで富士市立中央図書館1階エントランスホールにて開催しました。今回は前後半2部制で行いました。

協力企業105社の会社概要や経営理念のほか、事業内容やキャッチフレーズ、自社のアピールポイントなどをパネル展示させていただきました。

「図書館のパネル展示を見ました。」と相談窓口にご相談にみえる方もおり、多くの市民の皆さまに支援センターのことを知っていただく機会になったのではないかと感じています。また、協力企業の社会貢献について、広く周知することができました。



■ 第3回富士市ユニバーサル就労協力企業会

3月14日(火)、富士市立中央図書館において、第3回富士市ユニバーサル就労協力企業会を開催しました。令和4年度2回目となる今回の協力企業会では、富士市産業政策課(現：産業支援課)の協力のもと「DX・テレワークを活用した新しい働き方について」と題してセミナーを実施し、13社の協力企業に参加していただきました。



富士市産業政策課(現：産業支援課)松葉氏による「DX・テレワークを活用した新しい働き方について」の講話では、富士市が令和2年8月に「富士市デジタル変革宣言」を行い、「テレワーク先進都市」を目指し施策を展開している背景についての説明がありました。

今後ますます加速化する人手不足の方策として、ユニバーサル就労と企業のDX・テレワークの導入による業務の効率化を両輪で進めていく必要性について、わかりやすく解説していただきました。

また、セミナーの中では企業のDX導入の実例と共にコニカミノルタ静岡(株)によるテレワーク機器のデモンストレーションが実施され、実際に体感していただいた後、業務分解に関するグループワークを行いました。

企業間の意見交換の時間には、「どんな業務なら切り出せそうか」、また、テレワーク導入済みの企業からは「今後ユニバーサル就労に応用できそうな業務は何か」等、様々な意見が出され、ユニバーサル就労に活かせる業務としては、「事務、図面を書く」、「在宅勤務の短時間労働の活用」、「単純作業についてクラウドなどを用いた入力作業」などが挙げられました。

富士市ユニバーサル就労支援センターには、様々な働きづらさを抱えた方々が相談に来られますが、相談内容の中には就業時間や就業場所に制限があることが原因で就労に結びつかないというケースがあります。テレワークの導入や業務の切り出しを推進することは、企業における業務の効率化だけでなく、このような働きづらさを抱える方々の雇用機会の創出につながる可能性があると考えております。

業務の切り出しについて

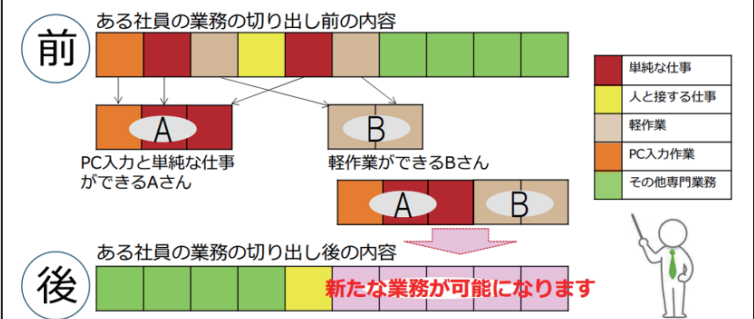
支援センターでは、どのような仕事が切り出せるのかを、企業に赴き提案をさせていただいております。

ある社員さんのお仕事の内容を把握し、業務を切り出し、AさんとBさんに振り分けます。業務を振り分けた分だけ、社員さんは専門性の高い仕事や新たな仕事に従事するための時間を確保することができます。(図表参照)

富士市は、DX・テレワークを活用した新しい働き方の導入を推進しています。

支援センターでも、DXを取り入れた業務の切り出しを検討し、新たな雇用の創出・拡大を目指していきたいと思っています。

■ 業務の切り出しのイメージ



DXとは、Digital Transformationの略で、コンピューターやインターネットなどのデジタル技術を活用して、新たな価値を生み出し、生活やビジネスをより良いものへ変革することを意味しています。